

富士薬品主催 Webセミナー

高尿酸血症と合併症

～ CVD 残余リスクとして薬剤介入を考える ～

日時

2024年6月25日(火) 19:00～19:45

演者

田中敦史 先生

佐賀大学医学部 循環器内科 特任教授

略歴

2005年 佐賀医科大学(現・佐賀大学) 卒業
2007年 佐賀大学循環器内科
2010年 慶應義塾大学大学院医学研究系博士課程
2012年 日本学術振興会特別研究員DC2
2015年 慶應義塾大学大学院医学研究系博士課程修了
2015年 佐賀大学循環器内科 博士研究員
2018年 同 特任講師
2019年 同 特任准教授
2021年 同 特任教授(現在に至る)



抄録

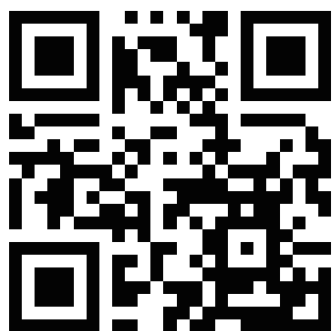
生活習慣病には多くの合併症・併存症があり、その中に高尿酸血症も含まれる。高尿酸血症は高血圧症との関連も強く、心血管疾患(CVD)の残余リスクと見なされることがある。高血圧治療ガイドラインでは、尿酸値が6.0mg/dL以下にコントロールされることの重要性が記述されている。我々が実施したDIANA研究では、高血圧症と高尿酸血症を合併した患者においてURAT1阻害薬(ドチヌラド)により高率に尿酸値6.0mg/dL以下を達成でき、投与前値から血管機能の指標であるCAVIが約4.0%低下し、血管機能の改善が示唆された。CVD残余リスクの軽減へ向け、病態に応じた適切かつ目標値を意識した尿酸低下療法の実践が求められている。

インターネット回線(ZOOM ウェビナー) を用いたご視聴のご案内

下記①または②の方法でアクセスできます。

【方法①】スマートフォンの場合

●下記 QR コードを読み取り頂く



6月25日(火) 19:00~19:45 富士薬品主催 Webセミナー

日時 2024年6月25日 07:00 PM、大阪、札幌、東京

ウェビナー登録

名* 姓*

名 姓

メールアドレス*

join@company.com

施設名*

都道府県*

選択

登録時に提供する情報は、アカウントオーナーおよびホストと共有されます。アカウントオーナーとホストは、その情報を規約とプライバシーポリシーに従って使用・共有できます。

登録

☆123 あ か さ

ABC た な は 空白

あいう ま や ら

検索

わ わ 、。!?

下記を入力し講演にご参加ください。

- ・ご芳名
- ・メールアドレス
- ・ご施設名
- ・都道府県(プルダウンよりご選択)

【方法②】PCの場合

●下記 URL よりアクセスいただき、上記の必要事項を入力し、ご参加ください

<https://x.gd/KGpaL>

ウェビナー ID : 846 0931 6753

お問い合わせ：【富士薬品】Webセミナー事務局
f-seminar@fujiyakuhin.co.jp